

給食週間の取組 1月22日～26日

食への関心、栄養に対する知識、食べられることへの感謝の気持ちを高めることを目的に、全校で「給食週間」に取り組みました。各学級で行った栄養指導では、学年に応じたテーマで食べることと健康、生活のかかわりについて学びました。栄養職員による授業を通して、バランスよく食べること、体に必要な栄養素、食べることと生活習慣についてなど、たくさんのことを考える機会となりました。

また、給食委員会の児童による呼びかけにより、「食べ残しを減らそう。」という意識も高まり、さらに調理員さんや給食に携わってくださっている方々への感謝の気持ちををはぐくむことができました。

これからも、「食」という身近でありながら、とても深いテーマについて、毎日の給食指導はもちろんのこと、各教科や行事、活動を通して指導を続けていきたいと思います。



1日におにぎり
1億個分の食べ物
が捨てられて
いるそうだよ。



各学級の栄養指導

わかば学級 1日のスタートは朝ごはんから

1年 なんでも食べよう

2年 野菜を食べよう

3年 かむことの大切さを知ろう



4年 元気な体とうんこの関係について知ろう

5年 じょうぶな骨をつくろう

6年 1日のスタートは朝ごはんから



児童の感想や振り返りより

○きれいな食べ物でも食べないといけないと思いました。理由は、それぞれの食べ物には、赤、黄、緑の仲間があって、その仲間を食べると体が元気になるし、かぜもひきにくくなるから、バランスよく食べ物を食べないといけないと分かりました。

○インスタント焼きそばには野菜はあまり入っていないけど、給食にはたくさん入っているのて体にいいなと思いました。だから野菜を食べて元気になりたいです。

○最初、よくかんで食べたらどんないいことがあるのかなと思っていたけど、虫歯の予防にもなるし、脳のはたらきにもなって、あごが発達したり消化を助けたりするようないいことがあってすごいいいと思いました。

○食物繊維を多くとったり、お母さんが栄養士の免許を持っているから便がよく出る食べ物を聞いたりして、よい便を出したいです。よい便は体調がよいということだからたくさん出したいです。

○給食週間の前はきれいな給食もあったけど、給食週間の間は好ききれいな気にもせず最後まで食べ切ることができました。(中略) 調理員さんの1日を見て、私たちが食中毒にならないためにスープでは温度を測って作られていると知って、とても心があたたまりました。

昔のあそび体験(1年)

お手玉やメンコなど、古くから親しまれてきた遊びの体験を行いました。タブレットやゲームが遊びの主流になりつつある中で、五感を働かせて遊ぶ楽しさを味わうことができたのではないのでしょうか。当日は、高野老人クラブ連合会の皆様に、特別先生としてお世話になり、子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしていただきました。



ウナギの謎に迫る(4年)

古くから日本人には馴染みの深い生き物である「ウナギ」ですが、その生態は謎に包まれた部分が多くあります。

今回は、京都府立海洋高等学校の伊藤昌平先生にお越しいただき、そのウナギの不思議な生態についてくわしく教えていただきました。先生は、子どもたちが興味を持ちやすいように、分かりやすく、そして軽快な語り口でたくさんのことを教えてくださいました。

ウナギのお話を通して、地球全体の生態系のつながりについても考えさせられるとても貴重な時間となりました。



見えない心と向き合う 1月19日

5年生を対象に、スクールカウンセラーの梅原先生による「心の学習」を行いました。

ケガをした時に治療をするように、心も疲れた時にはケアが必要です。その方法についても教えてくださいました。



授業参観・学級懇談会 1月25日

今年度最後の授業参観を行いました。前日からたくさんの積雪によりたいへん出にくい中にもかかわらず、多くの方にご来校いただき、頑張る子どもたちの姿を参観していただくことができました。1年間積み上げてきた学習の成果だけでなく、心も体も大きくなったところを見ていただくことができましたと思います。参観後の学級懇談会にもご参加いただき、1年間の子どもの成長について、担任からお話をさせていただきました。また、ご家庭での様子、困りごとなど、保護者の皆様と交流させていただき、とても有意義な時間となりました。



参加者の感想より

○6年生は、一方的に聞くだけの授業とは違い、班で話し合いながら考えることができ、コミュニケーションも取ることもでき、いいなあと思いました。
○学校での様子、クラスメイトとの関係性を聞くことができ嬉しかったです。春から、ずいぶん学校生活にも慣れ、お友達と楽しんで過ごしていることに安心しました。

校内図工展 1月23日～25日

カンフォーラに全校児童の作品が勢ぞろいしました。これまでにテーマに合わせて、材料や画材、道具などを工夫し、自分のイメージを表現しようと取り組んできた力作ばかりです。また、交流学习をしている京都府立豊学校舞鶴分校の仲間の作品も一緒に展示しました。

色とりどりの作品に囲まれ、会場も一気に華やかになりました。鑑賞にお越しいただいた皆様、ご多用の中、ありがとうございました。



野球しようぜ！

～大谷翔平選手 グラブ贈呈式～

ロサンゼルスドジャーズの大谷翔平選手からグラブが子どもたちのもとに届けられました。全校集会で贈呈式を行い、少年野球をしている児童がキャッチボールを披露しました。世界的にも有名な超一流プレーヤーからのプレゼントにみんな大喜びし、グラブに触れることで少しだけ大谷選手を身近に感じることができました。また、休み時間には、野球体験会も行いました。



遊びのフェスティバル 1月30日

なかよし班活動の拡大版として、遊びのフェスティバルに取り組みました。6年生を中心に遊びの内容を考え、1～6年生みんなが楽しく過ごせるように計画を立てました。宝探し、福笑い、ジェスチャーゲームなど、それぞれに工夫して時間を過ごすことができました。各教室からは、弾けるような笑い声がたくさん聞こえてきました。引き続き、このような時間を大切にしていきたいと思います。



小中一貫教育のコーナー 城南中学校区教育目標 ～つながり、挑戦する児童生徒の育成～

1月17日 6年生 城南中学校体験入学

城南中学校区の3小学校の6年生が城南中学校に集まり、体験入学を行いました。生徒会から中学校生活についての説明を聞きその後は、グループに分かれて中学校の先生による授業体験を行いました。緊張した様子も見られましたが、中筋小や池内小の仲間とも少しずつ打ち解け、小学校より5分長い、50分間の授業に楽しく取り組むことができました。また、部活動見学も行いました。いずれの時間も、入学後の自分をイメージするととても貴重な時間となりました。

